

# 赤十字講習 主催者の皆さまへ

## ～安全に講習を行うためのお願い～

### 1. 会場に関すること

- 十分な換気ができる会場を選定してください。  
可能な限り2つの方向の窓を同時に開放してください。  
これができない場合は1時間ごとに10分間の換気を行ってください。
- 受講者同士の間隔を2m程度確保できる会場を選定してください。
- 会場内に手指消毒薬を配置してください。
- 受付時や講習終了時に、密な状態にならないよう配慮してください。

### 2. 内容に関すること

- 受講者の実技（心肺蘇生法の実技や人と人が接触する実技）は実施しません。
- 受講者同士及び指導員の接触時間をできるだけ短くするため、講習時間は1時間程度を限度とします。

### 3. 受講者に関すること

- 受講者は同一地域・団体※の方のみとしてください。  
※（例）同一市町村内の受講者、職場・学校単位での受講など
- 講習受講にあたっては、マスクの着用と手洗いを徹底してください。
- 全ての受講者に別紙4「健康チェック表」の記入を依頼し、回収してください。
  - ・別紙4「健康チェック表」については、必要枚数コピーをお願いします。
  - ・回収した「健康チェック表」を確認し、受講条件を満たさない方は、受講させないようお願いいたします。指導員も確認しますので、講習前に必ず指導員に渡してください。
  - ・高齢者や基礎疾患を有する講習受講希望者には特にご配慮をお願いします。
  - ・講習中に体調が悪くなった受講者が発生した場合、講習の中止又は継続について、指導員と協議してください。
- 事前に全ての受講者に別紙2「赤十字講習 受講者の皆さまへ」を配布し、説明をお願いします。
  - ・講習のはじめに、受講者に対して、指導員からも再度説明します。
  - ・別紙2「赤十字講習 受講者の皆さまへ」については、必要枚数コピーをお願いします。
- 感染が発生した場合に備え、受講者の連絡先を把握するとともに、受講者から回収した別紙4「健康チェック表」を開催日から1ヶ月間保管してください。なお、感染が発生した場合は、当支部にご連絡ください。

### 4. 中止について

- 次の事例に該当する場合は、中止とさせていただきますので、ご了承ください。
- 講習開催地域での新型コロナウイルス感染症の感染状況により、講習の開催が不相当と認められる場合
  - 担当する指導員が、別紙5「講習実施チェックリスト」により、各項目が遵守されていないと判断した場合
  - 担当する指導員の体調が万全ではなく、他の指導員が派遣できない場合
  - 通常の講習と同様に、災害発生時及び警戒を要する場合